

議 案 1. 平成25年度事業報告並びに収支決算の件

東三河懇話会 平成25年度事業報告

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

東日本大震災が発生して3年が経過しましたが、依然として目に見えた復旧・復興はみられておらず、改めて大震災の衝撃の大きさを痛感致します。一方、安倍政権によるアベノミクスでは大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略が進められています。

今年3月の日銀短観による業況判断は、景気上昇の機運がみられていますが、4月から始まった消費税8%による景気への影響が懸念されています。

こうした中、東三河地域では東三河県庁の活動が本格化し、広域観光振興や将来を担う人材の育成に加え、特色ある気候条件を活かした再生エネルギー振興が進められています。東三河広域経済連合会では、三河港の自動車産業を核としたブランディング化、産業と地域を支える人材育成、健康な地域社会創造といった事業化に向けた展開が進展しています。また、「東三河はひとつ」とする広域的な地域づくりの基盤である広域連合の設置も着実に進んでいます。

こうした官民による広域的な取り組みや「東三河はひとつ」という志が、東三河の生活や産業活動を支える持続的な地域づくりに繋がると確信しています。

年度始めの「東三河産学官交流サロン」では永田副知事に東三河県庁、東三河振興ビジョンについてご講演いただき、さらに「新春懇談会」では各首長による各種連携によるそれぞれのまちの発展の将来像などをご披露いただきました。

前年に引き続き、まちなかの賑わいづくりについてパネルディスカッション形式で竹本豊川副市長はじめとするパネリストにご意見を発表いただき、東三河が一体となって魅力を発信することの重要性を再確認しました。

この他「幹線道路計画説明会」「三河港事業計画等説明会」「新東名高速道路視察会」など、地域の産学官民の連携・交流に資する事業を展開しました。

平成26年度も、引き続き新たな工夫を凝らし、東三河懇話会の更なる役割の向上に努める所存であります。

(1) 重点戦略事業

①三遠南信地域連携ビジョン

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会などの事業を通じ、ビジョンの浸透を図った。

②東三河広域連合設立に向けての側面支援

東三河産学官交流サロン、東三河5市長・1郡町村会長を囲む新春懇談会などの事業を通じ、側面支援に注力した。

③東三河広域経済連合会との連携

東三河地域研究センターのシンクタンク機能を活用して、政策提言、ビジョン策定支援などで連携、協力を実施した。

(2) 広域連携事業

①国際自動車コンプレックス研究会

第16期目の研究活動を継続している。「第11回 高等学校エコカーレース」の共催、研究交流会や横浜港湾施設視察会などを開催した。(詳細後記)

②三遠南信サミット2013 in 南信州

平成25年10月に飯田市で行われた第21回 三遠南信サミットに参加し、三遠南信地域の連携・交流に協力した。

③三河港振興会、三河湾浄化推進協議会、伊勢湾再生海域検討会

三河港湾関係諸団体の活動に参画、協力した。

(3) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン(12回/年)

3団体共催(東三河懇話会、(公社)東三河地域研究センター、TCIクラブ)で、12回開催した。

地元選出の国会議員や地域で活躍されている経済人などを講師としてお招きして、産学官民の交流連携、情報交換の場を提供した。平成25年12月には、昨年度に引き続き「まちなかの活性化」をテーマとしたパネルディスカッションを開催した。

(第342回～353回 詳細後記)

②東三河午さん交流会(10回/年)

10回開催した。地域に密着したさまざまな話題をピックアップして、東三河においての文化的、芸術的活動を実践・貢献されている方々を紹介した。

(第131回～140回 詳細後記)

③東三河5市長・1郡町村会長を囲む新春懇談会

新春恒例の東三河の全市長、北設楽郡町村会長によるパネルディスカッションを実施し、「これからの東三河の姿 ～地域一体の発展を目指す～」をメインテーマとして、東三河広域連合の設立を視野に入れた、これからの広域連携のあるべき姿についての活発な議論が行われました。詳細は、会報MIKAWA—NAVI特別号に掲載。

④視察会

9月「新東名高速道路建設現場視察会」、平成26年3月「メガソーラーたけとよ・武豊火力発電所視察会」を実施した(詳細後記)

(4) 会員サービス事業

①三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

平成25年6月に「三河港関連事業計画等説明会」を三河港振興会と共催した。
(詳細後記)

同じく7月に「東三河地区幹線道路整備計画についての説明会」を共催した。
(詳細後記)

②東三河地域問題セミナー

(公社)東三河地域研究センターの主催で3回、さらに平成26年3月に、地域関連研究発表会を開催、運営協力をした。
(詳細後記)

③広報

会報誌MIKAWA—NAVI (季刊) の発行。新春特別版の発行。
ホームページによる広報。URL : <http://www.konwakai.jp>

(5) 会員増強

新入会は、以下の6口。

- [法人会員]
- ・東海漬物(株)
 - ・テンプスタッフピープル(株)
 - ・(株)JTB中部 豊橋支店
 - ・社会医療法人 明陽会 成田記念病院
 - ・(株)大垣共立銀行
 - ・(株)豊橋ステーションビル

(敬称略)

運営の部

1. 定時総会・記念講演

6月17日(月)午後3:00～6:00 於:ホテルアークリッシュ豊橋

・議事

議案1. 平成24年度事業報告並びに収支決算報告

議案2. 平成25年度事業計画(案)並びに収支予算(案)

議案3. 役員変更の件

・記念講演 国土交通省 中部地方整備局 局長 梅山 和成氏

「南海トラフ巨大地震の備えと社会資本整備」

(詳細後記)

2. 理事会

5月15日(水)午前11:00～12:00 於:ホテルアークリッシュ豊橋

3. 会員数及び口数の状況

(1) 入 会 法人会員 6社 (6口)

退 会 法人会員 1社 (1口)

個人会員 1名 (1口)

減 口 法人会員 (1口)

(2) 平成26年3月31日現在会員数

法人会員 147社 (180口)

個人会員 3名 (3口)

特別会員 11団体 (27口)

推薦会員 2名 —

資料（事業の詳細）

1. 国際自動車コンプレックス研究会 活動状況

- (1) 第39回研究交流会 (H25.5.30 於：豊橋市民センター 6階多目的ホール)
講 師：(公財)中部圏社会経済研究所 企画調査部長 佐藤啓介氏
同上 経済分析・応用チーム 研究補助員 紀村真一郎氏
演 題：「次世代自動車の普及に伴う中部圏自動車産業への影響について」
出席者：51名
- (2) 第11回高等学校エコカーレース総合大会
(H25.6.2 於：ユタカ自動車学校 特設コース)
出走台数：エコハイクラス 10台、オープンクラス 25台、充電池部門 11台
- (3) 第40回研究交流会 (H25.8.23 於：豊橋市民センター 6階多目的ホール)
講 師：(一財)機械振興会 経済研究所 調査研究部 研究副主幹 太田志乃氏
演 題：「次世代自動車普及や危機管理を踏まえた自動車産業の将来展開について」
出席者：49名
- (4) 新東名高速道路建設現場 視察会 (H25.9.20) ※共催
・豊川橋、乗本トンネル
参加者：37名
- (5) 視察会 (H25.11.15)
・横浜港港湾施設見学・・・大黒ふ頭コンテナターミナル、横浜港の海上視察
参加者：16名
- (6) 第15期報告総会・記念講演会 (H25.12.18 於：名豊ビル 8階コミュニティーホール)
・記念講演会
講 師：(株)フォーイン 取締役副社長 久保鉄男氏
演 題：「世界の自動車産業の動向と展望—アジアの成長を視点として—」
出席者：49名

2. 講演会、懇談会等

- (1) 総会・記念講演会 (H25.6.17 於：ホテルアークリッシュ豊橋)
講 師：国土交通省 中部地方整備局 局長 梅山和成氏
演 題：「南海トラフ巨大地震の備えと社会資本設備」
出席者：総会 142 名、講演会 184 名、懇親会 105 名
- (2) 平成 25 年度 三河港関連事業計画等説明会 [三河港振興会と共催]
(H25.6.21 13:30~15:00 於：ライフポートとよはし 中ホール)
・平成 25 年度 三河港関連事業計画等説明
講 師：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 所長 宮田 亮氏
愛知県 三河港務所 所長 近田美則氏
愛知県 三河港工事事務所 所長 村瀬敏弘氏
参加者：110 名
- (3) 平成 25 年度 東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会 [三河港振興会と共催]
(H25.7.10 14:00~16:00 於：名豊ビル 8階コミュニティーホール)
・平成 25 年度 東三河地区幹線道路整備計画説明
講 師：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 所長 松田正尚氏
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 所長 天野邦彦氏
中日本高速道路(株) 豊川工事事務所 所長 村上修一氏
愛知県 東三河建設事務所 所長 村澤勇一氏
愛知県 新城設楽建設事務所 所長 鈴木秀育氏
参加者：130 名
- (4) (公社)東三河地域研究センター 通常総会での記念講演会
・通常総会 (11.29 14:30~16:45 於：名豊ビル 8階コミュニティーホール)
テーマ：「日本再興戦略と中部地域の取組」
講 師：経済産業省 中部経済産業局 局長 山本雅史氏
参加者：78 名

3. 東三河産学官交流サロン (公社)東三河地域研究センター、TCIクラブの2団体と共催
(年12回、毎月第3火曜日を原則 18:00~20:30 於:ホテルアークリッシュ豊橋)

第342回 4.23(火) 参加者107名

- ・愛知県 副知事 永田 清氏
「東三河県庁について」
- ・愛知大学 地域政策学部 教授 戸田敏行氏
「東三河地域の地域形成について」

第343回 5.21(火) 参加者91名

- ・豊橋創造大学 経営学部経営学科/大学院 経営情報学研究科 教授 川戸和英氏
「ポスト・グローバル時代の展望」～新時代の成長戦略創生への道～
- ・東三河ヤクルト販売(株) 代表取締役社長 高橋豊彦氏
「宅配ビジネスの未来と社会インフラとしての可能性」

第344回 6.25(火) 参加者100名

- ・浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 准教授 櫻井龍彦氏
「地元産の農産物の販売を通じた地域の課題の学びと地域貢献」
- ・設楽町 町長 横山光明氏
「設楽ダム事業に伴う住民生活とまちづくりの現状について」

第345回 7.16(火) 参加者107名

- ・豊橋技術科学大学 先端農業バイオリサーチセンター 特任教授 三枝正彦氏
「三方良しの夢の農業・植物工場」
- ・イングロ農材(株) 代表取締役社長 石黒 功氏
「日本をリードする東三河の太陽光型植物工場」

第346回 8.20(火) 参加者116名

- ・公益社団法人 東三河地域研究センター 常務理事・事務局長 金子鴻一氏
「豊橋市明海産業基地の事業継続計画(BCP)策定の取り組み」
- ・NPO法人 穂の国森づくりの会 理事長 神野吾郎氏
「森林の新たな価値を求めて ～穂の国森づくりの会の取り組み～」

第347回 9.25(水) 参加者99名

- ・愛知大学 現代中国語学部 准教授/国際ビジネスセンター所長 阿部宏忠氏
「日本の農林水産物・食品輸出の現況と展望」
- ・豊川市観光協会会長/B-1グランプリ in 豊川実行委員会 副会長 日比嘉男氏
「まちおこしの祭典B-1グランプリ in 豊川 ～想像を超えた仕掛けとは～」

第348回 10.16(水) 参加者90名

- ・衆議院議員 今枝宗一郎氏
「1期生の国会議員ができること」
- ・衆議院議員 根本幸典氏
「臨時国会に向けて」

第 349 回 11.19(火) 参加者 88 名

- ・愛知大学 地域政策学部 教授 功刀由紀子氏
「科学・技術・学術分野における女性のチャレンジ」
- ・愛知県 副知事 吉本明子氏
「女性が元気に働き続けられる愛知を目指して」

第 350 回 12.17(火) 参加者 92 名

<パネルディスカッション>

「今なぜ『まちなか』なのか！ ～新たな賑わいを求めて～」

[パネリスト]

- ・(公財)豊橋文化振興財団 理事長 松井章悟氏
 - ・愛知県商工会議所青年部連合会 直前会長 鈴木寿明氏
 - ・豊橋広小路発展会協同組合 理事長 鈴木初彰氏
 - ・豊川市 副市長 竹本幸夫氏
- [コーディネーター]
- ・愛知大学地域政策学部 教授 戸田敏行氏

第 351 回 1.21(火) 参加者 104 名

- ・豊橋創造大学 保健医療学部看護学科 准教授 蒔田寛子氏
「保健医療福祉領域における多職種連携」
- ・社会医療法人明陽会 理事長／成田記念病院 院長 成田 真氏
「当院における先端医療の取り組み」

第 352 回 2.18(火) 参加者 114 名

- ・愛知工科大学 工学部機械システム工学科 准教授 大竹才人氏
「エネルギー問題の解決に向けた再生可能エネルギー」
- ・(株)ニデック 代表取締役社長 小澤素生氏
「医療機器メーカーが考える産学官連携」

第 353 回 3.18(火) 参加者 106 名

- ・豊橋技術科学大学 学長 榊 佳之氏
「地域とともに歩む世界に開かれた技科大 ～これまでの歩み、これからの飛躍～」

4. 東三河午さん交流会（年 10 回、6、1 月を除く毎月第 1 金曜日 11:30～13:00）

第 131 回 4.5(金) 参加者 49 名

・蒲郡市観光協会 専務理事 遠山憲章氏

「『食』と『健康』のがまごおり温泉郷

～ グラウンド・ゴルフや温泉などヘルスツーリズムへの取り組みについて～ 」

第 132 回 5.10(金) 参加者 56 名

・豊橋市 文化市民部文化課 主幹 村田直広氏

「穂の国とよはし芸術劇場 ～その機能とその役割～」

第 133 回 7.5(金) 参加者 47 名

・三河市民オペラ制作委員会 資金調達小委員長 石黒貴也氏

「三河市民オペラ 2013 公演を終えて・・・」

第 134 回 8.2(金) 参加者 48 名

・新城ラリー2013 組織委員会 委員長 勝田照夫氏

「内閣府認定地域再生プラン 全日本ラリー選手権最終戦『新城ラリー2013』

～人を呼び込むまちづくり～」

第 135 回 9.6(金) 参加者 37 名

・学校法人高倉学園 豊橋中央高等学校 副校長 高倉嘉男氏

「世界最大の映画大国インド入門」

第 136 回 10.2(金) 参加者 48 名

・東栄町 町長 尾林克時氏

「竹内敏信氏と私」

第 137 回 11.1(金) 参加者 45 名

・フリーライター 大宮冬洋氏

「東京出身ライターが見た東三河の『ダサカッコよさ』」

第 138 回 12.6(金) 参加者 45 名

・田原市図書館 館長 豊田高広氏

「図書館は役に立つ！トップ級図書館からの提案」

第 139 回 2.7(金) 参加者 39 名

・豊橋落語天狗連 成田家紫蝶(なりたや しちょう)氏

(社会福祉法人 豊橋市社会福祉協議会 常任理事 近藤洋二氏)

「噺の話＝古典落語の魅力」

第 140 回 3.7(金) 参加者 39 名

・合資会社濱金商店 専務取締役 高坂泰弘氏

「映画における映像表現の力強さ」

5. 平成 26 年 東三河 5 市長 1 郡町村会長を囲む新春懇談会

(H26. 1. 10 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

テーマ：「これからの東三河の姿 ～地域一体の発展を目指す～」

内 容：東三河 5 市長・1 郡町村会長によるパネルディスカッション

パネリスト

豊橋市長	佐原光一氏
豊川市長	山脇 実氏
蒲郡市長	稲葉正吉氏
新城市長	穂積亮次氏
田原市長	鈴木克幸氏
北設楽郡町村会長（豊根村長）	伊藤 実氏

コーディネーター

豊橋技術科学大学 学長	榊 佳之氏
-------------	-------

参加者：251 名

6. 視察会、セミナー

(1) 国内視察会の開催

- ・新東名高速道路建設現場 視察会 (H25. 9. 20)

視察先：豊川橋工事現場

乗本トンネル工事現場

参加者：37 名

- ・メガソーラーたけとよ・武豊火力発電所 視察会 (H26. 3. 14)

視察先：メガソーラーたけとよ

武豊火力発電所

参加者：27 名

7. 東三河地域問題セミナー (主催：(公社)東三河地域研究センター)

(1) 見学会(H25.5.24 於：中部電力(株)浜岡原子力発電所)

- ・静岡県浜岡原子力防災センター (オフサイトセンター)
- ・浜岡原子力発電所 (浜岡原子力館、5号機ギャラリー、津波対策工事現場)

参加者：65名

(2) 公開講座 (H25.7.2 於：名豊ビル 8階 コミュニティホール)

演 題：「LCCと東三河地域観光」

講 師：中部国際空港(株) 執行役員 上用敏弘氏

参加者：48名

(3) 東三河の地場産業を知ろう(渥美半島編) 視察会 (H25.8.7)

1. 愛知県栽培漁業センター

案内：(公財)愛知県水産業振興基金 栽培漁業部長 向井良吉氏

2. 休暇村伊良湖

3. JA愛知みなみマムポート

案内：愛知みなみ農業協同組合 花き部花き販売課 森下英樹氏

4. サンテパークたはら

案内：田原市産業振興部 農業公園管理事務所 小久保富美恵氏

参加者：34名

(4) 第20回東三河地域関連研究発表会 (H26.3.19 於：名豊ビル 7階 ホールAB)

参加者：47名

8. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

- (1) (一社) 中部経済連合会
- (2) (公財) 中部圏社会経済研究所
- (3) (一財) 東海産業技術振興財団
- (4) (株) 豊橋キャンパスイノベーション
- (5) (一社) 奥三河ビジョンフォーラム
- (6) 愛知県港湾協会
- (7) 三河港振興会
- (8) 三河湾浄化推進協議会
- (9) 伊勢湾再生海域検討会
- (10) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (11) (NPO) 穂の国森づくりの会
- (12) (NPO) 朝倉川育水フォーラム
- (13) 東三河流域フォーラム
- (14) 一般国道151号改良促進期成同盟会
- (15) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (16) 豊橋観光コンベンション協会
- (17) (公財) 豊橋市国際交流協会
- (18) (公財) 豊橋文化振興財団
- (19) 豊橋日独協会
- (20) とよはし市電を愛する会
- (21) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (22) 530運動環境協議会
- (23) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

平成25年度
収 支 決 算 書
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

収入決算額	33,483,053円
支出決算額	32,097,303円
差引残高	1,385,750円

《 収 入 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 会費収入	24,066,000	23,950,000	△ 116,000	99.5%	
1)法人会費	21,600,000	21,510,000	△ 90,000	99.6%	180口
2)個人会費	360,000	360,000	0	100.0%	3口
3)特別会費	2,106,000	2,080,000	△ 26,000	98.8%	27口
2. 事業収入	6,210,000	6,781,142	571,142	109.2%	
1)産学官交流サロン	4,000,000	4,472,162	472,162	111.8%	
2)午さん交流会	1,150,000	1,451,674	301,674	126.2%	
3)新春懇談会	820,000	784,806	△ 35,194	95.7%	
4)その他の事業	240,000	72,500	△ 167,500	30.2%	
3. その他の収入	1,385,000	1,419,435	34,435	102.5%	
1)特定預金取崩収入	0	0	0	0.0%	
①減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
2)雑収入	1,385,000	1,419,435	34,435	102.5%	
①受取利息	5,000	3,435	△ 1,565	68.7%	
②雑収入	1,380,000	1,416,000	36,000	102.6%	
当期収入合計	31,661,000	32,150,577	489,577	101.5%	(A)
前期繰越収支差額	1,332,476	1,332,476	0	100.0%	
収入合計	32,993,476	33,483,053	489,577	101.5%	(B)

《 支出の部 》

(単位：円)

科目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備考
1. 運営事業費	2,000,000	1,963,231	△ 36,769	98.2%	
1) 総会・理事会費	700,000	714,285	14,285	102.0%	
2) 広報費	1,200,000	1,186,289	△ 13,711	98.9%	会報誌発行・郵送等
3) 講演・説明会費	100,000	62,657	△ 37,343	62.7%	
2. 事業費	5,735,000	6,585,401	850,401	114.8%	
1) 産学官交流サロン	3,600,000	4,254,884	654,884	118.2%	
2) 午さん交流会	1,100,000	1,397,949	297,949	127.1%	
3) 新春懇談会	800,000	855,344	55,344	106.9%	
4) その他の事業	235,000	77,224	△ 157,776	32.9%	
3. 調査・研究費	11,622,000	11,655,196	33,196	100.3%	
1) 調査・研究費	8,022,000	7,966,000	△ 56,000	99.3%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,600,000	3,689,196	89,196	102.5%	
4. 管理費	12,196,000	11,837,210	△ 358,790	97.1%	
1) 給料手当	5,200,000	5,205,332	5,332	100.1%	
2) 福利厚生費	1,000,000	927,615	△ 72,385	92.8%	
① 福利厚生費	190,000	82,120	△ 107,880	43.2%	
② 法定福利費	810,000	845,495	35,495	104.4%	
3) 会議費	15,000	11,810	△ 3,190	78.7%	
4) 旅費交通費	180,000	200,410	20,410	111.3%	
5) 通信運搬費	595,000	498,821	△ 96,179	83.8%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	780,000	720,217	△ 59,783	92.3%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	780,000	720,217	△ 59,783	92.3%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	150,000	119,490	△ 30,510	79.7%	総会資料・会員名簿
9) 新聞・図書費	212,000	205,584	△ 6,416	97.0%	
10) 水道光熱費	350,000	255,001	△ 94,999	72.9%	
11) 賃借料	3,240,000	3,239,988	△ 12	100.0%	事務所賃借料
12) 交際費	40,000	46,372	6,372	115.9%	
13) 諸会費	364,000	353,000	△ 11,000	97.0%	他団体の年会費等
14) 雑費	70,000	53,570	△ 16,430	76.5%	
5. その他の支出	56,265	56,265	0	100.0%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	56,265	0	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
当期支出合計	31,609,265	32,097,303	488,038	101.5%	(C)
当期収支差額	51,735	53,274	1,539		(A) - (C)
次期繰越収支差額	1,384,211	1,385,750	1,539		(B) - (C)

貸借対照表

平成26年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1)現金	88,547		
(2)預金	7,514,020		
(3)未収入金	491,711		
(4)仮払金	0		
流動資産合計		8,094,278	
2. 固定資産			
(1)基本財産			
①定期預金	2,000,000		
基本財産合計	2,000,000		
(2)その他固定資産			
①設備什器備品	632,986		
②電話加入権	213,000		
③敷金	2,821,000		
④減価償却引当特定預金	2,189,219		
その他固定資産合計	5,856,205		
固定資産合計		7,856,205	
資産合計			15,950,483
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1)未払金	958,713		
(2)預り金	690,525		
流動負債合計		1,649,238	
負債合計			1,649,238
III. 正味財産の部			
正味財産			
(うち基本金)			14,301,245
(うち当期正味財産増加額)			(2,000,000)
			(53,274)
負債及び正味財産合計			15,950,483

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	53,274	
減価償却引当預金増加額	56,265	
資産増加額額		109,539
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
増加額合計		109,539
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
資産減少額額		56,265
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
減少額合計		56,265
当期正味財産増加額		53,274
前期繰越正味財産額		14,247,971
期末正味財産合計額		14,301,245

<参 考>

国際自動車コンプレックス研究会 第15期収支決算書

(自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率 (b/a)	備考
会費収入	1,550,000	1,510,000	△ 40000	97%	
研究交流会収入	0	0	0	0%	
事業収入	0	0	0	0%	
雑収入	0	114	114	0%	
当期収入合計	1,550,000	1,510,114	△ 39886	97%	
前期繰越収支差額	139,194	139,194	0	100%	
収入合計	1,689,194	1,649,308	△ 39886	98%	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率 (b/a)	備考
総会費	150,000	181,636	31,636	121%	
研究交流会費	200,000	196,368	△ 3,632	98%	
事業費	700,000	378,217	△ 321,783	54%	
運営費	500,000	500,000	0	100%	
予備費	0	0	0	0%	
当期支出合計	1,550,000	1,256,221	△ 293,779	81%	
当期収支差額	0	253,893	253,893	0%	
次期繰越収支差額	139,194	393,087	253,893	0%	

監 査 報 告 書

東三河懇話会
会長 神野信郎殿

東三河懇話会の、平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

平成26年5月7日

東三河懇話会

監 事 豊橋信用金庫 専務理事

市 川 智 嗣



監 事 (株)三菱東京UFJ銀行 豊橋支社長

山 村 康



監 事 中部電力(株) 豊橋営業所長

伊 藤 芳 幸

